

効率的な同時学習で、実践的なスキルを習得。

MOS (マイクロソフトオフィススペシャリスト) 講座 (Word) (Excel®) (PowerPoint®) ビジネス統計スペシャリスト講座 G検定 (ジェネラリスト検定) 講座

MOS担当スクール AVIVA AVIVA AVIVA	
試験概要	
受験資格	全国合格率 [G検定]
制限なし	75.03% (2024年 第5回)

資格取得のサポートも充実!

キャリアアップ奨学金 MOS講座 受講直後の本試験合格で各**5,000円**を給付!

募集要項

- 申込期間は変更する場合がありますので、課外講座専用ホームページを随時確認してください。
- 受験料については各試験実施団体にお問い合わせください。

課外講座専用ホームページ

申込・講義日程・ガイダンスはこちら▶

講義日程を必ずご確認ください



講座名	コース名(回数)	開講時期	受講形態	申込期間	開講期間	受講料 ※教材費込	試験日
夏期集中 MOS マイクロソフトオフィススペシャリスト講座 ビジネス統計スペシャリスト講座 G検定 (ジェネラリスト検定) 講座	MOS Word (A) (3回)	8月	教室対面	3/11~7/18	8月~9月	23,100円	9月下旬
	MOS Word (B) (3回)		Webライブ				
	MOS Excel (A) (3回)		教室対面				
	MOS Excel (B) (3回)		Webライブ				
	MOS PowerPoint (A) (3回)		教室対面				
	MOS PowerPoint (B) (3回)		Webライブ				
ビジネス統計スペシャリスト (8回)	9月	Webライブ	9月~10月	30,000円			
春期集中 MOS マイクロソフトオフィススペシャリスト講座 ビジネス統計スペシャリスト講座 G検定 (ジェネラリスト検定) 講座	MOS Word (A) (3回)	2月	教室対面	11/4~26/1/17	2月~3月	23,100円	26/3月下旬
	MOS Word (B) (3回)		Webライブ				
	MOS Excel (A) (3回)		教室対面				
	MOS Excel (B) (3回)		Webライブ				
	MOS PowerPoint (A) (3回)		教室対面				
	MOS PowerPoint (B) (3回)		Webライブ				
G検定 (ジェネラリスト検定) (13回)	3月	Webライブ	44,000円				

※MOS講座同時申込みでお得にご受講いただけます。
2科目セット:41,800円 3科目セット:60,500円

申込方法はP.28へ

学習スケジュール(開講期間)	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
※ビジネス統計スペシャリスト講座の受講にはExcelの基礎知識が必要です。		夏期集中 Word・Excel	PowerPoint ビジネス統計					春期集中 Word・Excel・PowerPoint・G検定	

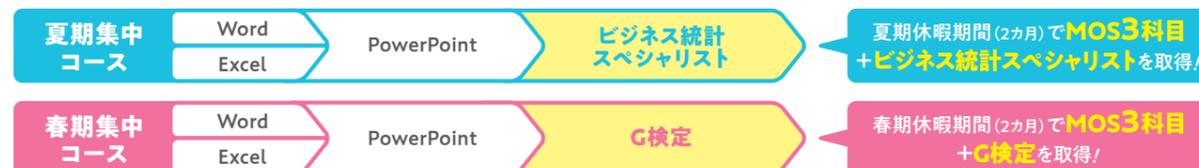
同時学習で3科目の取得がおすすめです!

同時学習により効率よく学習することで理解が深まり、高い効果を得ることができます。

Word・Excel・PowerPointは共通機能が多く、同時学習することでより理解が深まり、高い効果を得ることができます。帝京大学のMOS講座は、3科目の講座を同時期に学習できるカリキュラム設定です。また、夏期集中ではビジネス統計スペシャリスト、春期集中ではG検定との並行学習も可能となっており、パソコンスキルを身につけながらExcelの分析力を高めることや、AI知識を深めることも可能です。自身のペースで1科目ずつ学習したい場合はWordからの受講をおすすめします。

帝京大学のMOS講座では、例年多くの受講生が**複数科目を並行受講し、同時合格**しています!

夏期集中・春期集中コースなら短期間で効率的な資格取得が可能です!



短期取得!

夏期集中・春期集中コースは、Word・Excel・PowerPointを同時期に受講できるカリキュラムになっているため、効率良く学習して短期間で同時合格がめざせます。休暇期間中のコースでMOSを学習すると、休み明けの正課授業ですぐに学習内容を活用でき、さらに効果的です。

※Excel、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MOS (マイクロソフトオフィススペシャリスト) 講座 (Word) (Excel®) (PowerPoint®)

MOSで身につく「実務処理能力」は社会人の基礎的なスキルとして不可欠です。

パソコン操作は日常業務に不可欠で、どの企業への就職を考えていても求められる、社会人の基礎的なスキルです。MOSの資格を持っていれば「パソコンの基本的な知識や経験があり、業務でも使用できる」というスキルを客観的に証明でき、また「自ら勉強をおこない、目標に向けて努力する人材である」と企業へアピールできる材料ともなります。就職活動前にWord・Excel・PowerPointの3科目をまとめて取得しておくことをおすすめします。



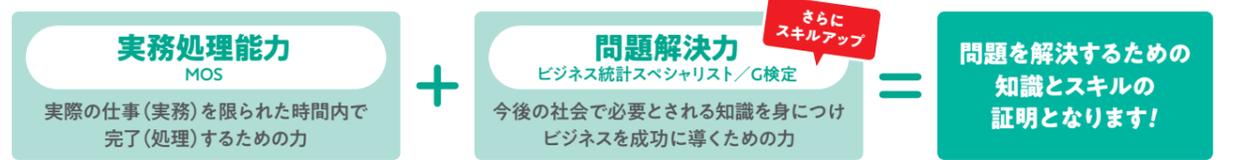
「使える」から「使いこなせる」になろう!

パソコンスキルは、自己流で「使える」と、習得した適切な機能を「使いこなせる」とでは意味が異なります。

- MOS講座では実際にアプリケーションを操作する実技を学習するため、実践的なスキルが自然と身につきます!
- ビジネス統計スペシャリストではMOSで身につけたスキルを活用し、「考える力」をつけることができます。
- さらにG検定ではAIの知識や活用リテラシーなど、これからの社会に必要となるスキルを学べます。

MOSで身につく「実務処理能力」に

ビジネス統計スペシャリストとG検定で身につく「問題解決力」のスキルを組み合わせましょう!



ビジネス統計スペシャリスト講座

今、注目の資格「ビジネス統計スペシャリスト」で「問題解決力」を養う

ビジネス統計スペシャリストは、データ分析の「実践」に重点を置き、身近に活用できるExcelを使用したデータ分析技能と、分析結果を正確に理解し、応用する能力を証明します。顧客管理や集客効果、購買動向など、ビジネスにおいて扱われるデータにはさまざまなものがあります。あらゆる数値をもとに分析し、正確な情報を得るための「データ分析力」はビジネス実務に必要なスキルです。そのため、企業はこのデータ分析力がより高い人材を求める傾向にあります。MOSとあわせて学生のうちに習得しておくことで、就職活動時だけでなく社会人になってからも自信を持って仕事に取り組むことができるようになります!



ヒット商品を作るためのアンケート調査では、顧客が求める項目の第1位は「価格」でした。では、その結果をもとに「コストを抑えて低価格な商品を作る」ことが本当に正しいのでしょうか?アンケート結果項目同士の関係性がわかるように、Excelでデータを分析してみましょう▶▶▶

●顧客アンケート結果項目の相関係数

	価格	機能性	耐久性	デザイン	ブランド
価格	1.00	0.22	0.16	0.66	-0.13
機能性		1.00	0.3	0.21	0.48
耐久性			1.00	0.16	0.24
デザイン				1.00	0.38
ブランド					1.00

【参考資料】株式会社 オデッセイコミュニケーションズ「ビジネス統計スペシャリストとは」

アンケートの結果、「価格」と答えた顧客の多数が「デザイン」も重要であると考えていることが読み取れるようになりました。顧客は「価格を抑えつつ、デザイン性のある商品」を求めており、ただコストを抑えただけでは商品は売れないことがわかりました。

このように、単純なアンケートの順位だけではわからない関係性を見つけるといった「データ分析力」を使って、問題を解決していく力が身につきます。

G検定 (ジェネラリスト検定) 講座

「実務処理能力」とAI分野の「問題解決力」の組み合わせで活躍の場がさらに広がる!

G検定(ジェネラリスト検定)はJDLA(日本ディープラーニング協会)が実施しているAI(人工知能)に関する資格です。AIが注目されている今、ディープラーニングや人工知能、機械学習の知識がある人材のニーズが高まっており、これからの時代に求められる資格です。MOSで身につけるパソコンスキルやビジネス統計スペシャリストで身につける分析スキルは、AIの領域と相性が良いため、あわせて学習をしておきたい資格となります。G検定ではデジタル社会において必要不可欠であるAIの知識や活用リテラシーを学びます。取得者は業界を問わず多くの企業で求める人材像として需要が高まっています。

注目度急上昇! G検定受験者が増えています

デジタル人材育成への社会的機運が高まる中、G検定は「今後必要とされる領域」の知識の証明として企業からも注目されています。大学生の取得者はまだ少ないため、今が周囲と差をつけるチャンスです!

累計1,448人 2017年 累計140,074人 2024年

受験者数 年々増加!

【参考資料】一般社団法人日本ディープラーニング協会「G検定 受験者推移(累計) 2024年11月25日 (https://www.jdla.org/certificate/general)」

文理、所属学部を問わず、これからの時代に必要となる資格です!

「AI分野の知識」を使い、パソコンスキルを駆使しながら問題を解決していく、社会において必要とされるDX人材としての力が身につきます。